

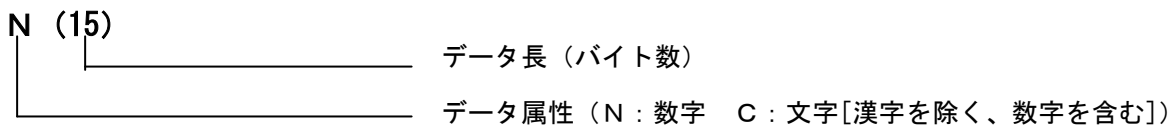
02.総合振込ファイル（全銀協規定形式）

(a) 総合振込ファイル（全銀協規定形式）の基本事項
レコードフォーマット（全銀協規定形式）各表の基本事項を示す。

表1 レコードフォーマットの例

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	2: データレコード	○	
2 16	2	支店名	C (15)	支店カナ名称		△	
17 20	3	ダミー	C (4)	未使用		—	

・「データ長」欄の見方



・「区分」欄の見方

表2 区分内容

区分欄	内容
‘○’	必ず設定が必要な項目
‘△’	条件により設定する必要がある項目
‘—’	設定なし（初期値を設定）。または入力不要

・設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値について

設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値を初期値として、データ属性ごとに以下の
ように値を設定する。

表3 設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値（初期値）

項番	データ属性	初期値
1	N	オールゼロ（‘0’）
2	C	オールスペース（‘ ’）ただし半角スペース

・各項目のデータの設定について

各項目の有効データがデータ長に満たない場合には、データ属性により以下のように扱う。

表 4 各項目のデータの設置方法とその例

項番	データ属性	データ長	属性 (データ長)	有効データ	備考
1	N	後方の半角スペース削除後、前方に” 0”を設定する。	N (5)	“13”	“00013”
2	C	左詰後、後方に半角スペースを設定する。ただし、前方の半角スペースは有効データとみなす。	C (5)	“ABC” “ ABC”	“ABC ” “ ABC”

(b) ファイル形式

ヘッダ レコード	改 行	データ レコード1	改 行	データ レコードN	改 行	トレーラ レコード	改 行	エンド レコード	改 行	E O F
←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	1 バ イ ト

図 1 全銀協規定形式ファイル形式

【注意事項】

- ・全銀協規定フォーマットに準拠する。
- ・改行コードは「CR+LF (0d0a)」、「CR (0d)」、「LF (0a)」とする。
- ・ファイルは、改行コードなしの形式でも受付可能である。
- ・エンドレコード後の改行コード及び EOF (1a) は、任意。
- ・システムではファイル内の改行コードを一律削除し、120 バイト単位にレコードとして取り扱う。
- ・ファイル構成は、図 1 のようにシングルファイルのみとなる。(マルチサブファイル不可)
- ・改行コードを含めて 120 バイトの形式でも受付可能であり、改行コードは削除せずスペースに置き換える。

総合振込業務

(c) ファイルフォーマット

表5 ヘッダレコードのレコードフォーマット[120バイト]

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	1: ヘッダレコード	○	
2 3	2	種別コード	N (2)	業務種別	21: 総合振込	○	
4	3	コード区分	N (1)	文字コード種別	0: JIS 1: EBCDIC	○	
5 14	4	委託者コード	N (10)	金融機関が採番した 委託者コード		△	
15 54	5	委託者名	C (40)	振込元の委託者名		△	(注1)
55 58	6	取組日	N (4)	振込指定日	MMDD	○	(注2)
59 62	7	仕向銀行番号	N (4)	取引金融機関コード (統一金融機関番号)		△	
63 77	8	仕向銀行名	C (15)	取引金融機関名称		—	
78 80	9	仕向支店番号	N (3)	取引営業店コード (統一店番号)		△	
81 95	10	仕向支店名	C (15)	取引営業店名称		—	
96	11	預金種目 (依頼人)	N (1)	振込依頼人の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 9: その他	△	
97 103	12	口座番号 (依頼人)	N (7)	振込依頼人の口座番号		△	
104 120	13	ダミー	C (17)	未使用		—	

注1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	、 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注2 3桁での設定も可能とする。ただし、3桁で設定された場合は、後方の半角スペース削除後、前方に"0"を設定する。

総合振込業務

表 6 データレコードのレコードフォーマット[120バイト] (1/2)

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	2 : データレコード	○	
2 5	2	被仕向 銀行番号	N (4)	振込先金融機関コード (統一金融機関番号)		○	
6 20	3	被仕向銀行名	C (15)	振込先金融機関名称 (カナ)		△	(注1)
21 23	4	被仕向 支店番号	N (3)	振込先営業店コード (統一店番号)		○	
24 38	5	被仕向支店名	C (15)	振込先営業店名称 (カナ)		△	(注1)
39 42	6	手形交換所 番号	N (4)	未使用		—	
43	7	預金種目	N (1)	振込先の科目	1 : 普通預金 2 : 当座預金 4 : 貯蓄預金 9 : その他	○	
44 50	8	口座番号	N (7)	振込先の口座番号		○	
51 80	9	受取人名	C (30)	受取人名 (カナ)		○	(注1)
81 90	10	振込金額	N (10)	ご依頼金額		○	(注2)
91	11	新規コード	N (1)	未使用		—	
92 101	12	顧客コード1	C (10)	依頼人が定めた受取人 識別の為の顧客コード 情報		△	識別表示欄に 「Y」以外を付与 した場合に設定 (注1)
102 111	13	顧客コード2	C (10)			△	
92 111	12 13	EDI情報	C (20)	依頼人柄受取人に 対して通知する EDI情報		△	識別表示欄に 「Y」を付与した 場合に設定 (注1)

総合振込業務

表 6 データレコードのレコードフォーマット[120バイト] (2/2)

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
112	14	振込区分	N (1)	未使用	7 : 電信振込	—	
113	15	識別表示	C (1)	EDI情報の使用識別	Y : EDIとして使用 スペース : 顧客コードとして使用または未使用	△	「Y」以外の文字が入力された場合、スペースとして扱う。 (注1)
114 120	16	ダミー	C (7)	未使用		—	

注 1 使用できる文字は注 1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	、 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注 2 金額が 0 円の明細は金融機関ホストへの送信対象とならない。
なお、確定・承認操作は可能である。

表 7 トレーラレコードのレコードフォーマット[120バイト]

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	8 : トレーラレコード	○	
2 7	2	合計件数	N (6)	データレコード 件数の合計		○	
8 19	3	合計金額	N (12)	データレコードの 振込金額の合計		○	
20 120	4	ダミー	C (101)	未使用		—	

表 8 エンドレコードのレコードフォーマット[120バイト]

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	9 : トレーラレコード	○	
2 120	2	ダミー	C (119)	未使用		—	